



真剣にしかり、真剣にしかられる

校長 前田 浩二

生徒のみなさんは、これまで家庭や学校の中で、しかられたことが何度もあると思います。その経験から、良い悪いの判断や生き方を身に付けてきたと思います。しかし、しかられるのが大好きだという人はいないでしょう。一方でしかるのが大好きだという人もいません。しかる側もできれば避けたいのです。では、お互いにいい気持ちがないのに、しかるという行為は必要なのでしょうか？

パナソニックの創業者である松下幸之助さんは、一代で大企業をつくりあげた経営の神様と言われた人です。尋常小学校を4年生で中退して、9歳で丁稚奉公に出されました。様々な経験を積みながら24歳で松下電気器具製作所を創業し、やがてパナソニックという世界的な大企業へと発展させました。松下さんは苦労を重ねる中で「真剣にしかられる」という考え方を導き出しました。

松下さんは、「人情と人情がからみ合って、マアママのウヤムヤになり、しかりもしなければしかられもしないということになったらどうなるか。神さまならいざ知らず、お互いに人間である。知らず知らずのうちに、ものの見方や考え方が甘くなり、弱さともろさが生まれてくることになる。」と語っています。そして、「私情にかられてのそれはいけないけれども、ものの道理（人としての生き方）について真剣にしかる、また真剣にしかられるということは、人情を越えた人間としての一つの大事な務めではあるまいか。しかられてこそ人間の真の値打ちが出てくるのである。しかり、しかられることにも、お互いに真剣でありたい。」と続けています。

このようなことを書いている私も、これまで多くの方にしかられてきました。しかられることは怖いし、気持ちも落ち込みます。しかし、自分のことをじっくりと振り返り、多くのことに気付く機会になりました。しかられたことをばねに発奮したこともありました。自分の成長があるのは、このおかげだと思っています。また、教師として親として、子どもたちをしかってきました。人として間違っていると思ったときには厳しくしかってきました。しかると嫌われるかもしれないとか、見なかったことにして穏便に済ませようとかいう逃げ腰な気持ちが首をもたげることもあります。しかし、その子が自分の過ちに気付くことなく生きていくことは、その子のためにならないと思うと頑張らざるを得ません。

さて、3年生のみなさん、いよいよ卒業ですね。今まで、ほめられたり、しかられたり様々なことがありました。これからは人からしかられることがあるかも知れません。そのようなときには「真剣にしかられる」ということばを思い出し、素直な気持ちで受け止め、あなたの成長に生かしてください。きっと、真剣にしかってくれる人は、あなたのことを真剣に考えてくれる人だと思います。逆に、「巧言令色（こうげんれいしょく）鮮（すく）なし仁」ということばがあります。口先だけうまいことを言うてくる人に、仁（人を思いやる気持ち）は少ないものです。これからのみなさんの可能性と活躍に期待しています。卒業おめでとう。

立神の如く

養護教諭 永田 悦子

〈アンパンマンのように…〉

先日、小学4年生の姪が自宅に遊びに来ました。遊ぶための条件として母親(私の姉)から「宅習を終わらせること」を提示され、算数プリント等を持参して来ました。しばらくの間宅習の様子を見てみると、最後に「こころのノート」というものをバッグから取り出してきました。姪の説明によると、「これは日記ではなく、思ったことを何でも書いてよいノートで、困っていることを書いた時には先生がお返事をくれる。」とてもすごいノートだという説明でした。姪の許可をもらって少しだけそのノートを見せてもらおうと、姪の心の声に対して担任の先生が丁寧にびっしりとお返事を書いてくださっていました。

私達は成長と共に、自分の弱さを隠そうとしたり、自分だけで解決しようとしたりします。姪の「こころのノート」のように自分の声を届けるツールが何かしらあれば、それを使って心の声を届け、何らかの返事がもらえるかもしれません。「こころのノート」がない場合は、どうすればよいのでしょうか。

やなせたかしさん作の「アンパンマン」。アンパンマンは誰もが知っているヒーローで、もしかすると、最弱のヒーローかもしれません。お腹をすかせた人を見つけると「ぼくの顔をあげる」と言って、食べさせてあげます。顔が欠けてしまふと力が出ず、たちまち弱くなってしまいます。しかし、アンパンマンは自分の限界を自覚していて、仲間に助けを求めることができるので、実は最強なのです。

「こころのノート」がない場合は、アンパンマンのように仲間や家族、先生に助けを求めてください。強さだけではなく、弱さもあるところがアンパンマンの魅力です。これから卒業、入学、進級などを控え、心揺れ動く春です。大人も子どもも、困ったときにはSOSを発信し、困っている人がいたら助けてあげるアンパンマンのような存在に…。そんな保健室でありたいと思う今日この頃です…。

入賞おめでとうございます

〇燃ゆる感動がこしま国体枕崎市ポスターコンクール
佳作 1年 後藤 和斗



後藤和斗さんの作品「闘志」



他にも、1・2年生4人が出品しました。

3学期学習と生活に関するアンケート（生徒）結果

以下は、生徒（1～3年）回答のアンケート結果です。今年度ももう少しで終わりますが、来年度の立神中学校のより規律ある学校生活や分かる授業づくりを職員一丸となって目指していきます。また、家庭生活の在り方についても、保護者のみなさまと一緒にPTA活動等を通して考えていきたいと思ひます。

なお、保護者アンケート集計は、臨時休業中のため回収できず、本号に間に合いませんでした。今後ご提出いただき、本校の教育活動の充実、改善に生かしていきますので、どうぞよろしくお祈りします。

A：よくあてはまる B：ややあてはまる
C：あまりあてはまらない D：全くあてはまらない 【表中の数値は%】

質問項目	A	B	C	D
わたしは、生き生きと楽しい学校生活を送っている。	51	40	9	0
学校は、掃除がいきとどき、落ち着いた環境である。	29	49	21	1
学校は、心豊かな生徒を育成するために、学校行事や体験活動が充実している。	40	49	11	0
学校は、学校・学級だより等で学校の様子をわかりやすく伝えている。	52	44	4	0
学校は、生徒や保護者からの連絡・相談に、丁寧に対応してくれる。	41	45	10	4
先生は、生徒のことをよく理解し、一人一人に適切な指導をしてくれる。	29	46	16	9
先生は、生徒の間違った行動には、愛情と厳しさをもち指導してくれる。	31	45	17	7
先生は、学校行事や授業において、活動への意欲をもたせるために工夫してくれる。	39	46	10	5
先生は、わかる授業を行い、学力を身につけさせ、伸ばそうと努力してくれる。	39	50	7	4
先生は、いじめ等のない学校・学級づくりに取り組んでくれる。	37	41	18	4
わたしは、学習に興味関心をもち、授業に意欲的に取り組んでいる。	39	53	6	2
わたしは、集団生活の決まりやルールを守っている。	50	44	6	0
わたしは、あいさつができる。	58	39	3	0
わたしは、「早寝・早起き・朝ご飯」を実行している。	48	38	13	1
わたしは、学習用具の準備や提出物等の提出ができている。	47	39	13	1
わたしは、PTA奉仕活動や地域行事等に積極的に参加している。	43	40	16	1
わたしは、基本的な生活習慣が身についている。	42	45	11	2
わたしは、検診結果をもとに治療をしたり、健康・体調管理をしたりしている。	44	44	11	1
家庭では、親子で将来の夢や進路について、話し合っている。	41	37	18	4
家庭では、学習に毎日90分以上取り組んでいる。	21	37	30	12
家庭では、親子で学校の様子について話し合っている。	36	35	23	6

1・2年生PTA—2月26日—

令和2年度のPTA組織の改編について、最後の1・2学年PTAで理事会から説明がありました。来年度からは、全員が4つの専門部のいずれかに所属する全員専門部制になります。また、専門部の名称も立神小学校と同じ、「広報部」「保体部」「研修生活部」「環境事業部」になります。一小一中の強みを生かし、PTA活動も小・中連携して活動を充実していきたいと思ひます。



【4～5月初旬の主な教育活動予定】

〈4月〉	16日(木) 全国学力・学習状況調査
6日(月) 新任式 始業式 入学式	PTA新旧評議員会
9日(木) 授業参観 2・3年PTA	17日(金) いじめ問題を考える授業
地域育成会長・給食費集金担当者会	30日(木) 3年実力テスト(～1日)
10日(金) 家庭訪問(～21日)	〈5月〉
13日(月) いじめ問題を考える週間(～17日)	8日(金) スケッチ大会 PTA総会
15日(水) 青パトの日	9日(土) 土曜授業